

かていがくしゅうぷりんとかくごーねん ①

みつけて はなぞう、たのしく きころう

なまえ

☆ ききょうかしの 24・25 ペえじを ひらきましよう。

☆ えをみて、しっているいきものや はな、ゆうぐや あそびを
おうちの ひとは なしましよう。わからないものは、おうちの
ひとに ききましよう。

☆ 「だれが」「どんなこと」をしているか、おうちのひとと
はなしましよう。

◎ はなしを したり、
はなしを きいたり
すると
たのしいね♪

おじいのが
うたぎを だっこ
して いるね。

ぼくも
うたぎを だっこ
したことが
あるよ。

そうだね。
にわとりや
ひよこも いるね



かていがくしゅうぷりんとかくごーねん ②

「ごばを あつめよう

なまえ

☆ きょうかしの 28・29 ペえじを ひらきましょう。

☆ えをみて、しっているものやいきものなどの なまえを、
おうちの ひとには なしましょう。

ごでばーが
あるね。



この はなは
なんて
いう
なまえかなあ。



☆ 「いす」「や」「ほん」など、きょうかしよにある ひらがなを

かきじゆんに きをつけて ゆびで なぞりましょう。

なんども なぞって、 かきかたを おぼえましょう。

かていがくしゅうぶんとこくぶーねん ③

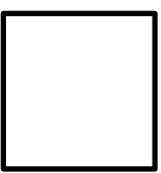
くまさん あつたの いあつた

なまえ

☆ きょうかしの 30 ページから 33 ページを こえに だして
よみましょう。

☆ くまさんの ことばは、くまさんになった つもりで
よみましょう。 ありさんの ことばは、ありさんになった
つもりで よみましょう。 どの ように よむと よいかな。

☆ おうちの ひとに きいて もらったら、□の なかに ○を かいて
もらいましょう。



こえに だして よむ とき に きき つけよう

「」を 「。」を
わくを も
(「」を 「。」を
くを)

くまさん
あつたの、あつた
くまさん を しんぶん
よむ。

かていがくしゅうぶりんとかくごうねん ④

ねっ、ねっ

なまえ

☆きょうかしの 34・35 ページをひらきましょう。

☆てをたたきながらよみましょう。

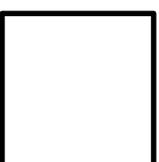
(れい)



ねこねっこ

☆おうちのひとにきいてもらったら、□のなかに○をかいて

もらいましょう。



☆ にすきなことをいれて、ぶんをつくりましょう。

は、

です。

は、

ました。

(れい) うまは、はやいです。 うまは、はしりました。

かていがくしゅうぶりとこくごーねん ⑤

たのしくよもう 1

なまえ

☆きょうかしの 40・41ページの

「あいうえおのうた」をよみましょう。

☆いろいろなよみかたでよんだら、

□に○をかいてもらいましょう。

きょうかしよ
20・21ページの
くちのかたちに
きをつけて
よみましょう。

・ひとりでよむ



・おうちのひとといっしょによむ

・いちぎょうずつこうたいでよむ

・うえと したで わかれて よむ

(こども)あかいえ あおいえ (おうちのひと)あいうえお

☆きょうかしの 42・43ページの「じゅうおん」を

たて(あいうえお…)やよこ(あかさたな…)に

よみましょう。

かていがくしゅうぷりんとかくごーねん ⑥

けむりの キョウヤ

なまえ

☆ きょうかしの 44 ページから 49 ページを こえにだして
よみましょう。

☆ むずかしいときは、いちどおうちのひとに よんで
もらいましょう。



☆ がっこうが やすみの あいだに、すらすらと よめる
ように れんしゅう しましょう。

のばす おん

☆ きょうかしの 50・51 ページを ひらきましょう。

☆ てを たたきながら よみましょう。

(れい)



おばあさん

☆ おうちのひとに きいて もらったら、□のなかに

○を かいて もらいましょう。

